安全上のご注意

1. このページに記載される安全上のご注意をよくお読みください。
2. ユーザーズマニュアルは今後のために大切に保管してください。
3. 掃除をする前に、この装置をAC電源から取り外してください。
   掃除をする際は、液体やスプレー洗剤をご使用にならないでください。
   湿った布などで掃除してください。
4. 装置はコンセントの近くに起き、コンセントに届きやすいよう設置してください。
5. 装置は湿気のある場所に置かないでください。
6. 装置を安定した場所に置いてください。装置を不安定な場所に置くと、落ちたり、破損の原因になることがあります。
7. 装置についている穴は通気孔です。装置の加熱を防ぐためのものです。これらの穴は絶対にふさがないでください。
8. 電源に接続するときは、電圧をお確かめの上、接続してください。
9. 電源コードは通行などの邪魔にならないよう配置してください。電源コードの上には何も置かないでください。
10. 装置に関するすべての注意事項および警告事項をよく守ってください。
11. 装置を長期間ご使用にならない場合は、変圧器の破損を防ぐため、コンセントから外しておいてください。
12. 火災や感電の恐れがありますので、穴などに液体を注ぎ込まないでください。
13. 装置の解体は絶対におやめください。安全上の配慮から、装置の解体は専門技師にのみ許可されています。
14. 次のような状況が発生した場合は、すぐに専門技師にお問い合わせください:
    (a) 電気コードやプラグが破損した場合。
    (b) 装置に液体がこぼれた場合。
    (c) 装置が湿気のある場所に置かれた場合。
    (d) 装置がうまく作動しない場合や、ユーザーズマニュアル通りに操作しない場合。
    (e) 装置を落としたり、破損した場合。
    (f) 装置に明らかな破損の傾向がある場合。
15. この装置は、エアコンのない密封環境に放置しないでください。60°C (140°F)以上の場所に保管すると、装置を破損する恐れがあります。また、IEC704-1:1982に基づく装置の音量圧力レベルは、70dB(A)(を含む)以下です。
16. 危険: この装置を開くと、目に見えない放射能が発生しますので、直接触れないでください。
    FDA放射線標準、21 CFR第J項を満たしています。
    レーザーパワー:ウェーブ長さ:783±3mm(CD); 658±3nm (DVD)
    放出能力: :0.7mW
    レーザーダイオード:class 3b

ご注意

!! ドライブを自ら解体しないでください。カバーを取り外すと、危険性のあるレーザー光線や電圧に触れる恐れがあります。欠陥のあるドライブは、お買い上げ店に返品し、専門技師に修理を依頼することを強くお勧めします。

- ドライブの郵送や返品には、本来の梱包をお使いください。この商品の梱包は、ドライブが運送条件に耐えるよう設計され、テストされています。
- ディスクは清潔に保ちましょう。レコーディング前に柔らかい、きれいな布でディスクの表面をふき取ることにより、データの完全性が高まります。
- 各国の著作権法が各著作の再製などを管理しています。ご利用になる際は、無許可で著作を再製することが違法となることもありますのでご注意ください。
- HDDからデータをコピーする方が、"オン・ザ・フライコピーモード"でコピーを実行するよりも成功率が高くなっています。よって、イメージファイルの作成に十分なバッファスペース(CD の場合は少なくとも 650MB、DVD の場合は 5GB; お使いのドライブが Double Layer DVD+R または Dual Layer DVD-Rへの書き込みに対応している場合、最低 9GB の容量が必要です。

目次

はじめに

本BD(ブルーレイディスク)ROMドライブは、CD、DVDおよびBDの読み込みで、プロ品質並みのパフォーマンスを実現します。本機はWindowsプラグ&プレイに対応しています。本ドライブのフラッシュメモリは、ドライブを開けることなく、インターネットを通して最新のファームウェアバージョンに更新することができます。

BD ROM ドライブでできること

- BD-R / BD-RE / DVD+R / DVD+RW / DVD-R / DVD-RW、CD-R、CD-RW ディスクの再生。
- 音楽CDの再生。
- VCD / DVD / BDムービーの再生。
- DVD / BDに保存されている対話型参考資料へのアクセス。

BDの場合:

- BD-ROM / BD-R SL / BD-RE SL メディアの読み込み

DVDの場合:

- DVD-ROM / DVD+R / DVD-R / DVD+RW / DVD-RW / DVD+R9 / DVD-R9 ディスクの読み込み

CDの場合

- 全てのCD-ROMとCD-Rメディアの読み込み、CD-RWとCD-DA（オーディオ）メディアの読み込み

形式の互換性

BD 読み込み: BD-ROM Version 1.3

DVD 読み込み: DVD-ROM single/dual layer (PTP, OTP), DVD-R, DVD+R, DVD+R9, DVD-R9, DVD-RW, DVD+RW, DVD-RAM (DVD-RAM 読み込み対応のドライブのみ)

CD 読み込み: CD-DA, CD-ROM, CD-ROM/XA, Photo-CD, Multi-session, Karaoke-CD, Video CD, CD-I FMV, CD Extra, CD Plus, CD-R, および CD-RW

システム構成

システム環境

安定した読み込み/書き込み/書き換えパフォーマンスを保証するために、次の特徴を持つIBM互換性PCシステムが推薦されます。

CPU	Pentium 4 2.0GHz 以上
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 2000 SP4 / Windows XP SP2 / Windows Vista
メモリー	512MB以上 RAM
ハードドライブ	最低 10GBの使用可能容量
インターフェース	使用可能なシリアルATA (SATA) インターフェースコネクタ

高解像度BDムービー再生向け:

CPU	Pentium D 3.4GHz 以上
オペレーティングシステム	Microsoft Windows XP SP2 / Windows Vista
メモリー	10GB 以上 RAM
ハードドライブ	最低 10GB 使用可能容量
デジタル出力用ディスプレイデバイス	● HDCP対応のモニターまたは TV ● 256MB RAM, 16X PCI Express, 1920x1200 解像度, 32bit カラー搭載のHDCP対応グラフィックスカード **GPU 環境:** MPEG2 高解像度ビデオ用DXVAデコーディングに対応, H.264 高解像度ビデオ用DXVAデコーディングに対応, 2 つのDXVAストリームの同時デコーディングに対応 (これら 2 つのストリームは形式が異なる場合があります), 3 つの高解像度 (1920x1080) ARGB32 テクスチャを 3ms以内でブレンディング COPPによりDVI / HDMI出力用HDCPに対応 **推奨されるGPU:** NVIDIA GeForce 7600GT / 7800GTX512 / 7900GS / 7900GX2 / 7900GTX / 7950GT / 7950GX2 / 8800GTS / 8800GTX, および ATI X1600 / X1800 / X1900 /HD 2400 / HD 2600 / HD 2900 シリーズ以降 **グラフィックカードドライバはHD CP規格に対応している必要があります:** nVIDIA ForceWare 92.91 以降 ATI CATALYST 6.7 以降

備考 1:

HDCP: High-bandwidth Digital Content Protection(高帯域デジタル･コンテンツ･プロテクション)
DXVA: Direct X Video Acceleration(ダイレクトXビデオ･アクセラレーション)
DVI: Digital Visual Interface(デジタル･ビデオ･インターフェース)
HDMI: High Definition Multimedia Interface(高解像度マルチメディア･インターフェース)
COPP: Certified Output Protection Protocol(認証済み出力保護プロトコル)

備考 2:

高解像度BDムービー再生にお勧めのCPU要件:

Intel CPU	推奨
Pentium EE	840(3.2G)、955(3.4G)
Pentium D 9xx Series	945(3.4G)、950(3.4G)、960(3.6G)
Core Duo	T2500(2G)、T2600(2.16G)、T2700(2.33G)
Core 2 Duo	E6300(1.8G)、E6400(2.13G) 、E4500(2.2G) 、E6550(2.33G) 、E6600(2.4G), E6700(2.66G) 、 E6750(2.66G) 、E6850(3.0G) 、X6800(2.93G) 、Core 2 Quad Q6600(2.4G)

AMD CPU	推奨
Athlon 64 FX	FX-60(2.6G)、FX-62(2.8G)
Athlon 64 X2	4200+(2.2G) 、4400+(2.2G) 、4600+(2.4G) 、4800+(2.4G) 、5000+(2.6G) 、5200+(2.6G) 、5600+(2.8G) 、6000+(3.0G) 、6400+(3.2G)
Turion 64 FX	TL-60(2.0G)

機能と調整

正面図

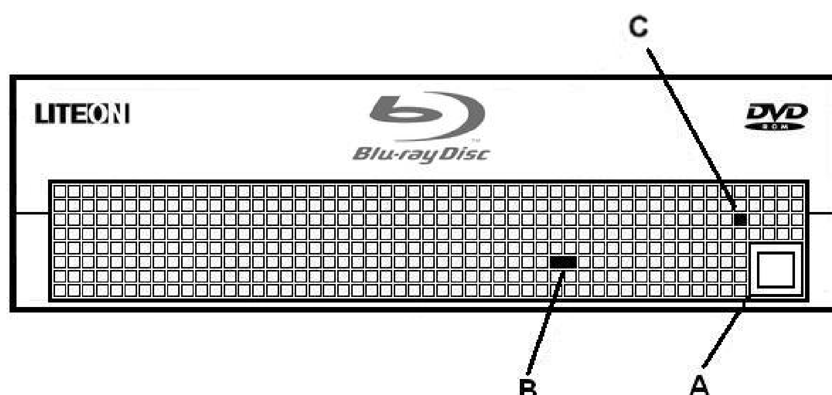


図: BD ROMドライブ正面図の代表例(ご使用のドライブと異なる場合があります)

A	**イジェクト/クローズボタン**	トレイを引き出す/閉じるための押しボタン。
B	**ビジー/書き込みLED**	ドライブの作業状態を示します。LEDの点灯はディスクがロード済みで準備が完了している状態を示し、点滅している場合は、ドライブが読み込み/書き込み/再書き込みの状態、またはディスクがロード中の状態を示します。
C	**エマージェンシィ イジェクトホール**	イジェクト・ボタンが機能しない場合、このホールに小さな棒やクリップの先を差し込んでください。トレイを引き出すことができます。 ***注意: この手動でのトレイ引き出を実行する前に、電源をオフにしてください。***

背面図

シリアル ATA ドライブ:

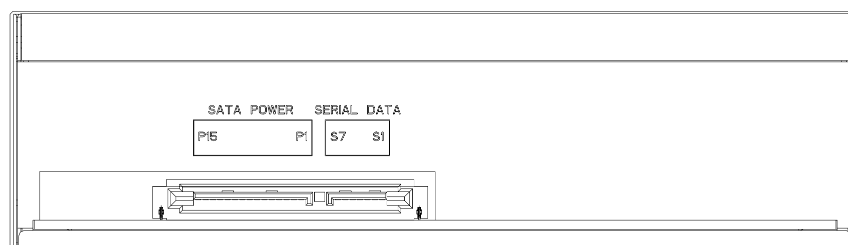


図: シリアル ATA ドライブの背面図

シリアル ATA 電源コネクタ	DC 電源入力用 15ピンコネクタ
シリアル ATA データコネクタ	シリアル ATA データインターフェース用 7 ピンコネクタ

シリアル ATA ドライブのハードウェアインストール

1. PC の電源を切り、すべての電源コードを取り外します。
2. PC カバーの取り外し方については、PC のユーザーズマニュアルを参照してください。
3. 空のベイを見つけ、ドライブをこのベイにスライドさせ、4つのネジでドライブを固定します。
4. シリアル ATA データケーブルを、PC のマザーボードまたは PCI カード上にあるプライマリまたはセカンダリシリアル ATA ポートに接続します。
5. シリアル ATA データケーブルのもう片方をドライブに接続します。

   メモ: シリアル ATA データケーブルコネクタのピンの定義は、下図と同様です。

6. (オプション) シリアル ATA 電源アダプタには4ピンを使用する必要がある場合があります。これは、PC 電源の電源コネクタにより異なります。もし必要な場合、この4ピンを PC 電源からシリアル ATA 電源アダプタに取り付けます。
7. シリアル ATA 電源コネクタをドライブ背面の電源コネクタに接続します。

   メモ: シリアル ATA 電源コネクタはシリアル ATA データケーブルよりも大きいサイズです。シリアル ATA 電源コネクタのピン定義は、下図と同様となります。

8. PC ケースを元に戻し、電源コードを接続します。

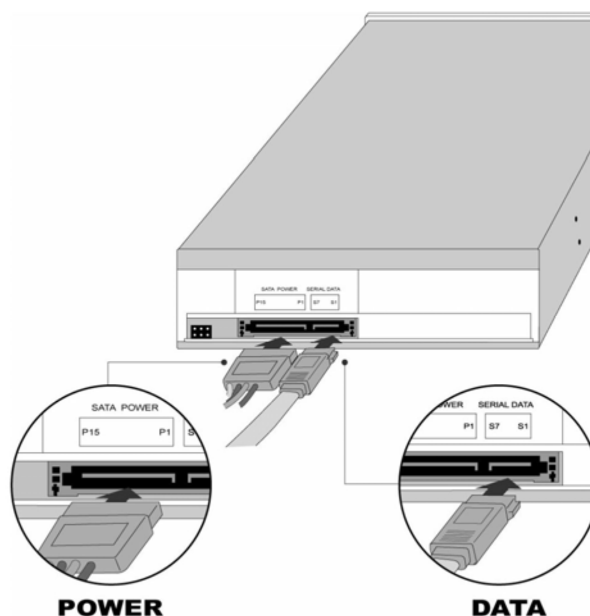


図: シリアル ATA ドライブの背面パネル

操作方法

デバイス・ドライバとソフトウェアのインストール

ご使用のWindowsシステムにはすでにデバイス・ドライバが搭載されておりますので、ドライブをインストールすれば即時にドライブが使用でき、CD-ROMやDVD-ROMからソフトウェアをインストールし、セットアップすることができます。しかし、ディスクへの書き込みや市販のムービー再生といったドライブの全機能を活用するには、追加ソフトのインストールが必要となります。

BD ROMドライブを使用するには:

- **CD-ROM ドライブとして使用する場合:** Windows オペレーティング システム (Windows Vista, WindowsXP 、Windows2000) のほとんどに、一般的な CD-ROMデバイス・ドライバが搭載されているため、インストールすると即時に、BDドライブの機能を標準のCD-ROMドライブとして使用できます。これらオペレーティングシステムのいずれかをご使用の場合、CDの読み込みや再生に、追加のソフトウェアをインストールする必要はありません。
- **DVD-ROM ドライブとして使用する場合:** ほとんどのオペレーティングシステム上で、インストール後即時に、ドライブ機能をDVD-ROMドライブとして使用することもできます。これらオペレーティングシステムのいずれかをご使用の場合、DVDの読み込みや再生に、追加のソフトウェアをインストールする必要はありません。
- **BD-ROMドライブとして使用する場合:** Windows XP で BD メディアのコンテンツにアクセスするには、UDF リーダーソフトをインストールする必要があります。Windows Vista では、インストールされるとすぐに BD-ROM ドライブとして機能します。BD を読み取るために追加ソフトをインストールする必要はありません。

ソフトウェアをインストールするには:

ソフトウェアディスクをドライブに挿入し、画面上の指示に従って、ドライブ付属のソフトウェアをインストールしてください。

トレイのロードとアンロード

(1) トレイを引き出すには、ＢＤ ROMドライブの電源がオン状態の時に、フロントパネル上のイジェクトボタンを押してください。

(2) トレイのへこみ部分にディスクのラベル面を上にして置きます。ディスクがトレイに水平になるよう気をつけてください。

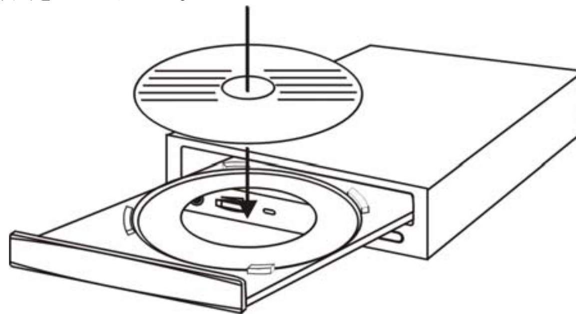


図: トレイをロードします

(3) イジェクト・ボタンをもう一度押すと、数秒以内にトレイはスライドして戻ります。

再生

VCD、DVD、BDの再生

本ドライブで市販のVCD、DVD、BDムービーを再生するには、ご使用のPCにBD再生ソフトがインストールされている必要があります。PC にBD再生ソフトがない、またはBD再生ソフトを入れ替えたい場合、同梱のソフトウェアCDから適切なアプリケーションをインストールしてください(前ページ参照)。

地域コードが設定されたDVDの再生

DVDによっては、北米やヨーロッパなどある地域で再生できるようコード設定されているものがあります。

BDドライブの出荷時には、地域コードが予め設定されていません。それに代わり、地域設定されたDVDをBDドライブに初めて挿入すると、DVD挿入という動作でドライブに地域コードが設定されます。

地域コードの異なるDVDを後から挿入すると、地域コード変更の許可を促すプロントが表示されます。変更を許可しない場合、DVDは再生されません。変更を許可すると、BDドライブの地域コード設定が変更されます。

注意: BD ROMドライブの地域コードは、5 回のみ変更可能です。それ以降は、ドライブのコード設定を変更できません。 (5 回の変更制限に達すると、DVD再生ソフトが警告を表示します。)

ソフトウェアとマニュアルについて

レコーディングや再生ソフトに関する詳細なユーザーズマニュアルは、ソフトウェア本体のインストール時に自動でコンピュータにインストールされます。

トラブルシューティング

BD ROMドライブのインストール中または使用中にトラブルが発生した場合は、以下の情報をご参照ください。

読み込みの問題

症状	考えられる原因	解決法
動作しない	電源が入っていない	• 電源コードが(すべての接続箇所で)安全に接続されているか確認してください。
	SATAケーブルが適切に接続されていない	• SATAケーブルとコネクタが故障していないか(ピンを入念に点検してください)、両側が接続されているか確認してください。
BDドライブが認識されない	電源ケーブルが適切に接続されていない	• 電源コードが(すべての接続箇所で)安全に接続されているか確認してください。
	SATAケーブルが適切に接続されていない	• SATAケーブルとコネクタが故障していないか(ピンを入念に点検してください)、両側が接続されているか確認してください。
ディスク読み込み時のノイズが大きすぎる	ディスクのロードがアンバランス	• ディスクを別のディスクと交換してください。
	ステッカーかラベルが表面に付着している	• ディスクに傷がつかないよう注意しながら、ステッカー/ラベルを慎重に剥がしてください
トレイが開けられない (イジェクト)	ソフトウェアによりドライブがロックされている	• ソフトウェアの起動が完了するまでお待ちください; もしくは • ソフトウェアの起動を停止してからイジェクトを押してください。
	ディスクがトレイに正しくセットされていない	• ドライブの電源を切ってから、小さな棒やペーパークリップをエマージェンシィイジェクトホールに差し込みトレイを引き出してください。
最低 2 回書き込まれたCD-RWディスクの前セッションの読み込みができない	"Load Contents(コンテンツのロード)" または "Import Session(セッションのインポート"が、書き込み過程で選択されなかった	• 新しいデータをディスクに書き込む際、"import previous sessions(前セッションのインポート)" が正しく選択されているか確認してください。
	ディスクに欠陥があるか壊れている	• 常に高品質メディアをご使用ください • 常にディスクは慎重に取り扱い、清潔に保ってください。ディスク表面に深い傷や指紋、他の汚れがつくと、ディスクが読み込めなくなることがあります。
	ディスクが逆さまに挿入されている	• トレイからディスクを取り出し、ラベル側を上に向け再度挿入してください。